長崎医療センター
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS

専齋 SENSAI

2025 OCTOBER VOL.439

発行所
独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター
〒856-8562
長崎県大村市久原2丁目1001-1
TEL 0957-52-3121
FAX 0957-54-0292



素敵な笑顔と確かな知識で安心・安全な医療を支える薬剤部の皆さんです

先端医療特集

TOPICS
・特定看護師の座談会

治験管理室だより Vol.1

薬剤部だより Vol.10

ハピスマ

外来診療担当医一覧

長與 專齋（1838年～1902年）

大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめて採用したのも專齋である。專齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

先端医療特集

人工関節置換術におけるロボット支援手術（Makoシステム）

整形外科医長　前田 純一郎



Makoシステム

人工股関節手術
（モニターを見ながら切骨する筆者）

当院整形外科では2025年度よりロボット支援下人工関節置換術（Stryker社 Makoシステム）を開始いたしましたのでご紹介させていただきます。

我が国において2023年には人工股関節・膝関節合わせて17万件以上の手術が行われており、今や人工関節手術は整形外科で最も多い手術の一つとなっています。しかしながら従来の手術（いわゆるマニュアル法）は専ら術者の技術と経験に依存していたため、インプラント設置の不備や術後合併症などがしばしば生じていました。そこで近年ではより安全で正確な手術を達成すべく、様々なデジタルトランスフォーメーションが発展しています。Makoはその究極型と呼べるシステムであり、長崎県では当院が初めての導入となります。他のロボットもいく

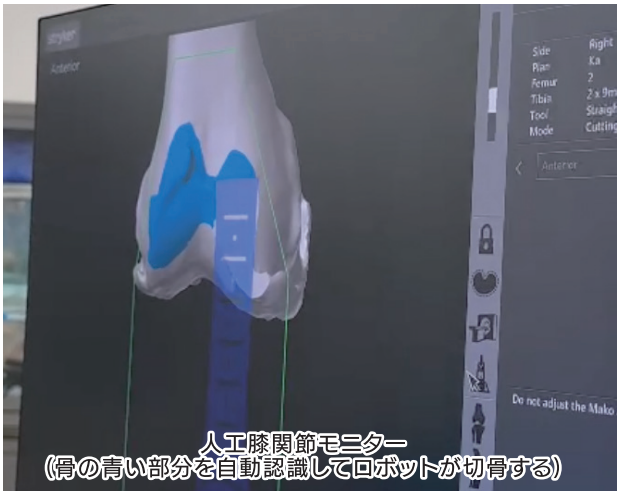


人工膝関節手術
（モニターを見ながら切骨する宮本先生と筆者）

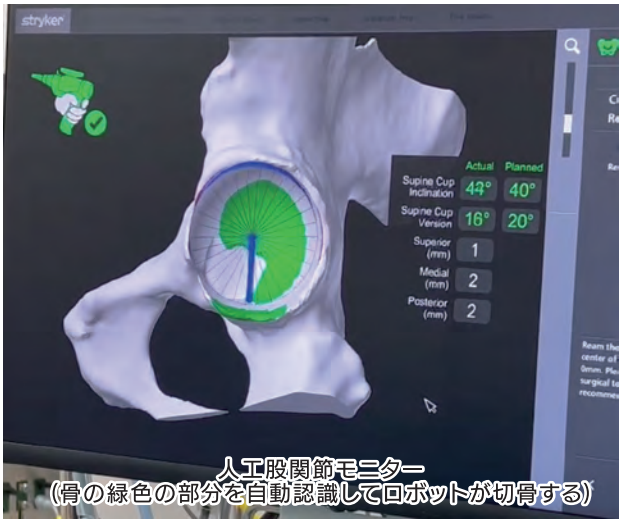
つか存在していますが、MakoはCTベースであるためより精度に優れる点と、唯一人工股関節にも使用できる（他のロボットは人工膝関節のみ）という点で差別化されるロボットです。

従来の手術と違い、カットデバイスを要しないダイレクトカット（ロボットが骨の位置情報を把握して直に切骨することができます）であるため非常に精度が高いという特徴があります。また計画範囲外への動きをロボティックアームが自動制御する（骨を逸脱することなくボーンソーやリーマーが自動で止まります）ことで組織損傷リスクを低減し、安全で低侵襲な手術を行うことが可能です。

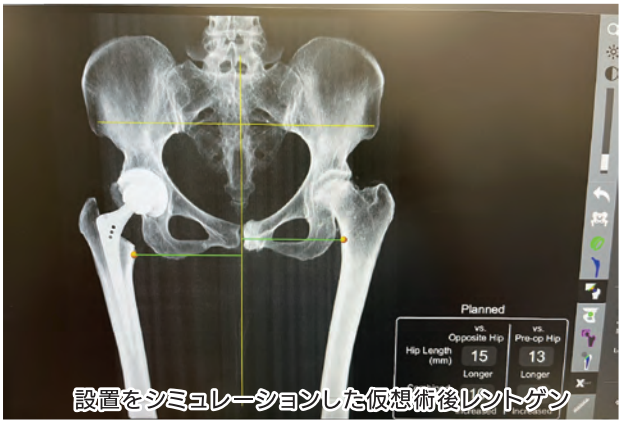
高齢化に伴い、整形外科において人工関節手術の需要は年々増加していくものと予想されます。今後も患者さんにとって安全で負担の少ない手術を提供していきたいと考えています。



人工膝関節モニター
（骨の青い部分を自動認識してロボットが切骨する）



人工股関節モニター
（骨の緑色の部分を自動認識してロボットが切骨する）



設置をシミュレーションした仮想術後レントゲン

TOPICS

特定看護師の紹介

令和７年度の新任特定看護師さんたちからコメントをいただきました。



9A病棟　山本 真代

患者さん一人ひとりに寄り添い、その人らしい生活を支えるためには、より深い観察と病態理解、そして根拠をもった判断力が必要だと感じ、特定看護師を志しました。研修で得た知識や技術を活かし、多職種と連携して最善のケアを共に考える姿勢を大切にしています。

修了後は特定行為の実践にとどまらず、日々のケアや判断を支え、安心して相談できる存在として、病棟全体の看護の質向上に努め、より良い医療の提供を目指します。

6A病棟　山口 萌

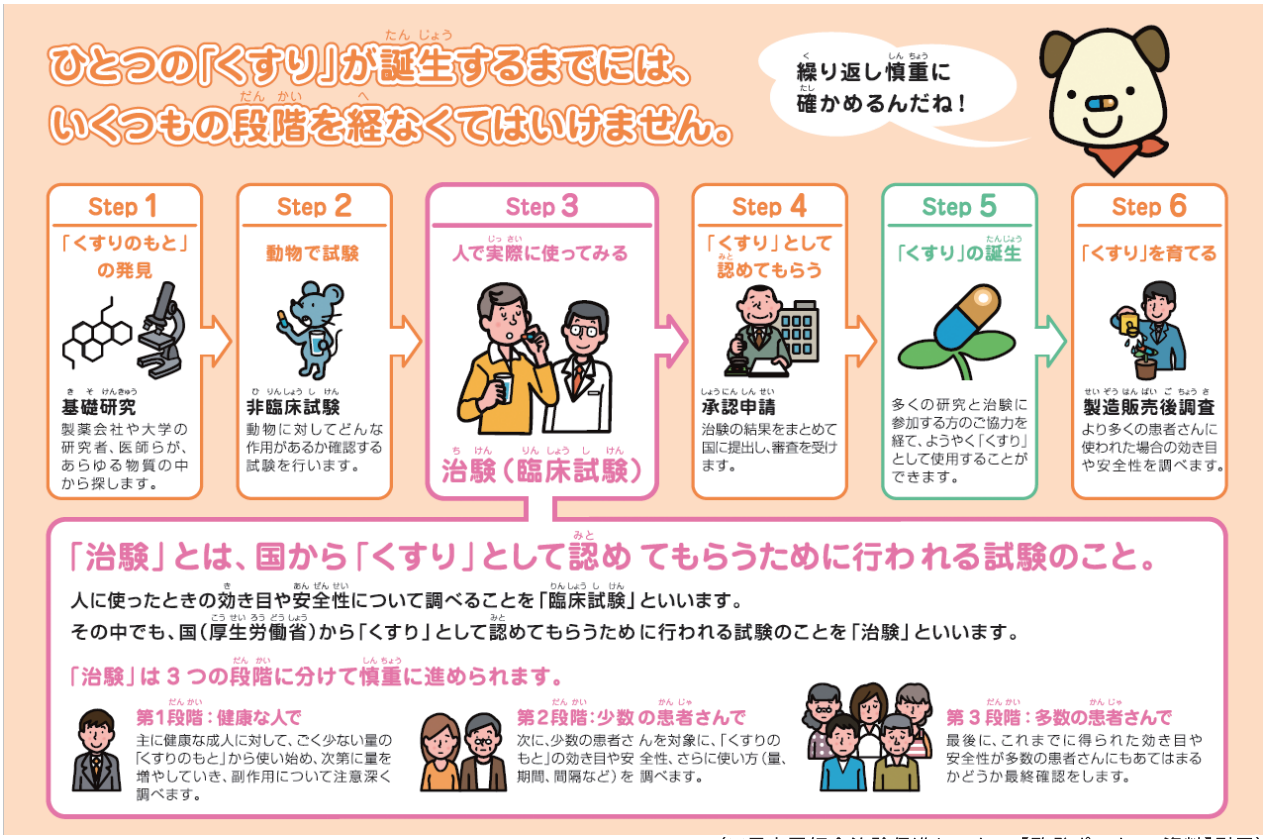
目の前の患者さんに対し「こうしたらいいのに」と思っても看護師としてできることに限界があることを感じ、迅速な医療提供ときめ細やかなケアを提供したいと思い、特定行為研修を受講しました。研修では、看護の視点をもちつつ医学的な知識を得て、身体観察などの情報から臨床推論し、病態を判断することで的確な症状マネジメントにつなげていくことなど、多くのことを学ぶことができました。研修を終え、現在、病棟で呼吸器の設定変更、離脱等に向けた実践などを行っています。今後も看護の質の向上に寄与できるよう取り組んでいきます！

治験管理室だより Vol.1

治験管理室　大津貴寛・川﨑美幸・冨田英里・大久保房庫・木村梨沙

治験管理室は、医師・薬剤師・看護師・事務助手の多職種スタッフで構成された部署です。

患者さんにご協力いただき、倫理性や科学的質の確保に注意しながら、厚生労働省から「薬」としての承認を得るために行う「治験」に関する業務を主に行っています。



（※日本医師会治験促進センター【啓発ポスター・資料】引用）

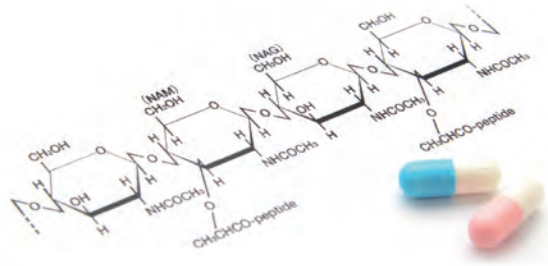
現在、下記疾患の治験を募集しています。

診療科	対象疾患
肝臓内科	原発性胆汁性胆管炎（PBC）、 非アルコール性脂肪肝炎 / 代謝機能障害関連脂肪肝炎（NASH/MASH）
膠原病・リウマチ科	特発性炎症性筋疾患（多発性筋炎および皮膚筋炎）
血液内科	成人 T 細胞白血病・リンパ腫、多発性骨髄腫、T 細胞リンパ腫
小児科	てんかん
脳神経外科	てんかん
循環器内科	急性心筋梗塞、（今冬募集開始予定：慢性心不全）
呼吸器内科	非小細胞肺癌

治験に参加するには基準があります。

治験への参加をご検討される方は、主治医までご相談ください。

薬剤部だより Vol.10



周術期の安全な薬物療法を目指して

主任薬剤師　小園 晃生

2022年の診療報酬改定で「周術期薬剤管理加算」と「術後疼痛管理チーム加算」が新設され、術前から術後まで一貫した医薬品の安全管理体制が求められています。薬剤部では周術期患者に対する薬物療法の質的向上を目指して、2024年4月より手術室担当薬剤師を配置しています。

手術室担当薬剤師は、入院前に入院支援センターで確認された服用薬の内容、入院後の病棟担当薬剤師による初回面談での情報をもとに、術前休止薬の妥当性や術中使用予定の薬剤について肝・腎機能、アレルギー・副作用歴の面から適切であることを確認します。術後は合併症や術後疼痛、術後悪心・嘔吐、術後せん妄をはじめとした有害事象の評価、術前休止薬の再開状況などを確認するとともに、術後疼痛管理チームとして鎮痛薬使用や副作用対策などへの介入を行っています。





多職種で収集した情報を共有し患者ごとの薬剤使用状況やリスクを多角的に把握することで、より安全かつ効果的な薬物療法につながっているのではないかと感じます。

手術に関わる多職種のチームの一員として、患者さんの安全と治療効果の向上に貢献していきたいと思います。









研修医ワークショップ開催 ハピスマ

HAPPY & SMILE



9 月 13～14 日、諫早少年自然の家で生涯学習をテーマとした研修医ワークショップを開催しました。本ワークショップは今年で 19 回目となり、院外での開催は 2019 年以来 6 年ぶりとなります。　1 日目は現状分析アンケート結果の共有、先輩医師のビデオインタビュー、曼荼羅チャートでの自己分析と目標設定を行いました。夜はサッカー観戦も交えた情報交換会で交流を深め、2 日目はグループ発表と全体討議を行いました。目標設定、勉強会、学習姿勢など、多岐にわたって現状の課題を共有し、改善に向けた方向性を確認しました。

個人・組織の学びを生涯学習の視点で見直す大変良い機会となりました。研修環境の改善については今後、研修委員会内で内容共有の上、実行可能な施策から導入していく予定です。開催にあたりご支援いただいた病院・臨床医師協議会・教育センター、ご参加いただいた指導医の皆様には、この場を借りて深く感謝申し上げます。

臨床研修運営委員会　森 英毅

外来診療担当医一覧表

受付時間　8時30分～11時30分（ただし急患はその限りではありません。）

（★は新患対応）令和7年11月1日現在

	月	火	水	木	金
総合診療科	当番制	当番制	当番制	当番制	当番制
肝臓内科	★長岡　進矢 ★末廣　智之 ★児嶋　知仁 山崎　一美	★佐伯　哲 ★末廣　智之 ★釘山　有希	★小森　敦正 ★山﨑　一美 佐伯　哲	★長岡　進矢 ★本吉　康英 ★小森　敦正	★本吉　康英 ★釘山　有希
消化管内科	★西山　仁	★後藤　高介 ★峯　彩子	午前　★西山　仁 午後　★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患 専門外来）		★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患　専門外来） ★今村　祥子
内分泌・代謝内科	★安井　順一 ★加藤　遼 徳満　純一	★徳満　純一 安井　順一 加藤　遼	★安井　順一 徳満　純一	★徳満　純一 ★加藤　遼 安井　順一	
腎臓内科	★岡　哲 中村　麻衣子		★田川　孝樹 岡　哲	中村　麻衣子	★中村　麻衣子 田川　孝樹
循環器内科　午前	★於久　幸治	★福田　侑甫	★森　彩	★松尾　崇史 ★石松　卓（不整脈）	★深江　貴芸
循環器内科　午後	★小出　俊朗	★石松　卓（不整脈） ★福田　侑甫	於久　幸治	石松　卓（不整脈）	
呼吸器内科	★原　敦子 池田　喬哉	★川嵜　光一	近藤　晃 ★池田　喬哉	★乗富　大地	★近藤　晃 原　敦子
血液内科	午前　小林　裕児 午後　★渡辺　春香	★今泉　芳孝	吉田　真一郎	午前　今泉　芳孝 午後　★小林　裕児	午前　吉田　真一郎 午後　★桐野　祐子
脳神経内科（神経内科）	★徳田　昌紘 ★佐藤　和明 足利　裕哉	岩永　洋 ★足利　裕哉	徳田　昌紘		岩永　洋 徳田　昌紘
膠原病・リウマチ内科	★岡田　覚丈		★岩永　希	★岩永　希	午後　★岡田　覚丈
小児科　午前	★本田　涼子（神経） ★桑原　義典 （心臓・一般） ★西口　奈菜子（神経・一般） 武田　敬子（新生児・乳児） 黒岩　かほり（新生児・乳児）	★本村　秀樹（心臓） ★石橋　洋子（一般・心臓） ★石橋　信弘（心臓・一般） 田中　茂樹（神経）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★本田　涼子（神経） ★和泉　啓（内分泌） ★桑原　義典（心臓・一般） 食物アレルギー外来	★西口　亮（新生児・乳児） ★石橋　洋子（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） ★池田　憲呼（神経・一般）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★石橋　信弘（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） 本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）
小児科　午後	本村　秀樹（心臓） 発達外来	★本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）	一ヶ月健診 ★大学医・当番医（内分泌）	発達外来	シナジス外来
皮膚科　①外来紹介・新患	★石川　博士	★中牟田　瑠璃	★石川　博士 午後　★宿輪　哲生	★中牟田　瑠璃	★濱辺　真奈
皮膚科　②旧患	中牟田　瑠璃	石川　博士	濱辺　真奈	石川　博士	中牟田　瑠璃
皮膚科　③入院中の紹介	濱辺　真奈	濱辺　真奈	中牟田　瑠璃	濱辺　真奈	石川　博士
外科	★黒木　保（胆・膵） 釘山　統太 （胆・膵・一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★福井　彩恵子（一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田　道（乳腺・内分泌外科）	★原　貴信（肝）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） 藤井　美緒（一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田　道（乳腺・内分泌外科）	★竹下　浩明 （大腸・肛門・一般外科） ★大石　海道（大腸・肛門） 藤岡　ひかる （肝・胆・膵・消化器）
呼吸器外科			★田川　努 ★松本　理宗		
心臓血管外科			★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志		★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志
脳神経外科	★小野　智憲 ★原口　渉	★案田　岳夫	★定方　英作	午後　原口　渉	★小野　智憲 ★後藤　純寛
整形外科・リハビリテーション科	★伊藤　勇人	★宮本　俊之（第1・3・5） （再 第2・4）	★前田　純一郎	★向井　順哉	★梅木　雅史（第2・4） （再 第1・3・5）
形成外科	★藤岡　正樹 ★吉田　大作	★吉野　健太郎	★藤原　洸平	★藤岡　正樹 ★吉田　大作	★藤原　洸平 ★吉野　健太郎
産婦人科	★古賀　恵 ★福田　雅史 プレコンセプション外来	★安日　一郎 ★山下　洋 胎児スクリーニング外来	★菅　幸恵 ★杉見　創 産褥1ヶ月検診（午後）	★五十川　智司 ★山口　純子 子宮鏡外来 ワクチン外来	★福田　雅史 ★小川　真幸 レジデント外来 NIPT 外来
泌尿器科	★大仁田　亨 鹿子木　桂	錦戸　雅春	★近藤　翼	★鹿子木　桂	★大仁田　亨 ★川島　大輝
移植後フォローアップ外来	錦戸　雅春	松屋　福蔵	錦戸　雅春		大仁田　亨
耳鼻咽喉科	★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★神田　悠志	★吉田　晴郎	★田中　藤信 ★前田　耕太郎 ★神田　悠志	★吉田　晴郎	★田中　藤信 ★前田　耕太郎
眼科	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★吉村　遥香 ★大槻　早紀 ★古田　彩子	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★吉村　遥香 ★大槻　早紀 ★古田　彩子	午後　中尾　志郎	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★吉村　遥香 ★大槻　早紀 ★古田　彩子	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★吉村　遥香 ★大槻　早紀 ★古田　彩子
放射線科（治療）	本多　功一 武田　達哉	★本多　功一 ★武田　達哉 中村　太祐（午前のみ）	本多　功一 武田　達哉 中村　太祐（午後のみ）	本多　功一 武田　達哉	★本多　功一 ★武田　達哉

※紹介状なしで受診を希望される患者さんにつきましては、診察料とは別に、選定療養費として7,700円をご負担いただきます。
ただし、紹介状がある場合は選定療養費（7,700円）の負担はありません。「かかりつけ医」等からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

理　念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 救急医療の最後の砦となる
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する

外来担当医一覧の最新版は
こちらからご覧ください

長崎医療センター NEWS
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS
https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/
VOL.439